

学びの秋を迎えて

今年の夏は平年よりもずいぶんと高温が続き、9月いっぱいはいよいよ暑さを警戒していましたが、運動会実施の前後からは肌寒い日もあり、秋の訪れを身近に感じる頃となりました。



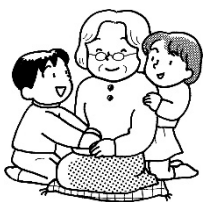
先月20日の運動会では、新しい生活様式をふまえた様々な取組に対して保護者、地域のみなさまからたくさんのご理解とご協力をいただき、安心・安全に実施することができましたこと、心よりお礼申しあげます。精一杯活躍する子どもたちの表情や声、ふりかえりの作文、保護者の皆様から寄せていただいた感想から、多くの方々に学校を支えていただいていることへの感謝の気持ちとともに、今後の本校教育活動推進にむけての更なる決意と自信を深めることができました。本当にありがとうございました。

さて、国立成育医療研究センターによる調査では、多くの子どもが自分や家族が感染した場合に、人に知られることに抵抗を感じていることが報告されました。調査を行った専門家は、こうした意識が差別や偏見につながるおそれがあるとして注意を呼びかけています。

学校は、漠然とした不安を感じている子どもたちの声をしっかりと聴く姿勢を示していくとともに、具合が悪くなったり、ケガをしたりした時と同じように、新型感染症であっても、「必ず助けてもらえる」「治るよう励ましてもらえる」「治ったらまた温かく迎えてもらえる」というあたりまえの感覚を子どもたちの中にしっかりと育てることができるようあらゆる機会をとらえ指導してまいります。

このような状況だからこそ、本校教育活動推進の柱である「他の人と支え合う、つながる楽しさ（仲間への信頼）」「こつこつとがんばることや努力する価値（自分への信頼）」「真理や真実に触れ、学ぶ喜び（学びへの信頼）」を子どもたちに十分に味わわせ、差別や偏見に負けない力を高めたいと考えています。

会話時のマスクの着用、手洗いの励行、換気の徹底等、引き続き感染症対策を行いながら校内における各教科・領域の学習、郊外における野外活動・修学旅行・施設見学、また、持久走大会等の各種行事、参観日等の実施について十分に検討し、感染状況をふまえながら、子どもたちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めてまいります。保護者、地域のみなさまのご理解とご協力を引き続きお願いいたします。



敬老の日に向けて中舞鶴婦人会さまにご提案いただき、学校を代表して1年生がお手紙を地域のお年寄りの方々へお届けしました。敬老の思いに触れる道德の学習もおこない、「いつまでもお元気でいてください。」という思いを込めました。中舞鶴を支えてきてくださった皆さんへ心より御礼申しあげますとともに、今後ますますのご健勝をお祈りいたします。

校長 藤原 佳弘
教職員 一同